

令和7年度 年間指導計画 国語科 第2学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す能力、聞く能力、話し合う能力を身に付けさせるとともに、考えを広げようとする態度を育てる。</li> <li>構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。</li> <li>表現の仕方に注意して読む能力、情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに読書を生活に役立てようとする態度を育てる。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	1	見えないだけ	言葉の用い方や表現の特徴に注意し、感じたことを意識して声に出して読む。
	4	アイスプラネット	登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して、作品を読み取る。
	1	意見を聞き、整理して検討する	聞き取った意見と根拠を整理し、根拠の適切さについて検討する。
	2	文法1 自立語	単語の分類方法について理解する。
5	3	魅力的な提案をしよう	情報を多様な方法で集め、わかりやすくプレゼンテーションをする。
	4	枕草子	描写の巧みさを読み取り、作者の四季の捉え方や感じ方について考えをもつ。
	1	季節のしおり 春	語感を磨き語彙を豊かにする。
	4	クマゼミ増加の原因を探る	文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉える。
6	1	情報整理のレッスン	情報の関係を整理して、視覚的に表す方法を理解する。
	5	職業ガイドを作る	多様な方法で情報を集めながら、自分の考えをまとめ、構成を考えて書く。
	3	漢字1 熟語の構成	熟語の構成の種類について理解する。
	4	短歌に親しむ	語感を磨き、語彙を豊かにする。
	1	短歌を味わう	
	2	言葉の力	語句の効果的な使い方や文章の描写の効果を理解し、情景を想像しながら読む。文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする
7	1	書写 行書を書こう	行書の特徴に気をつけ、字形を整えて書く。
	4	言葉1 類義語・対義語・多義語	類義語、対義語、多義的な意味を表す語句の意味や用法について理解する。
	4	メディアの特徴を生かして情報を集めよう	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。
	1	読書を楽しむ読書案内本の世界を広げよう	読書を通して自分の考えを広げたり深めたりする。
9	2	書写 行書と仮名を書こう	行書と仮名の調和に気をつけて書く。
	1	季節のしおり 夏	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにする。
	4	ヒューマノイド	描写の効果、登場人物の言動の意味などに注意し、人柄や心情を読み取る。
	3	字のない葉書	父親の家族への愛情を読み取り、家族のきずなや人間関係について考えをもつ。
	3	表現を工夫して書こう	敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使う。
	4	書写 気持ちを込めて書こう	配列・配置に気をつけ、字形を整えて書く。手紙の書き方を知る。
10	1	表現の効果を考える	敬語表現の特徴を理解し、相手や目的に応じて言葉を工夫する大切さに気づく。
	1	言葉2 敬語	同音異義語の使い分けについて考える。
	1	漢字2 同じ訓、音を持つ漢字	注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。
	2	聞き上手になろう	
	5	モアイは語るー地球の未来	各段落の役割や叙述の順序に注意して読み、内容を理解する。
	1	根拠の吟味	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する
11	5	意見文を書く	文章の構成や展開を工夫して意見文を書く。
	1	月夜の浜辺	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使う。
	1	季節のしおり 秋	語感を磨き語彙を豊かにする。
	1	音読を楽しもう 平家物語	冒頭部分を音読することで古文の表現に慣れ、古典の世界を楽しむ。
11	3	扇の的ー「平家物語」から	人物の心情を想像し、古人のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。
	3	仁和寺にある法師ー「徒然草」から	描写や人物の言動から作者のものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもつ。
	3	漢詩の風景	漢詩とその解説文を読み、詩の情景や人物の心情を想像し、自分の

	5 1	君は「最後の晚餐」を知っているか 思考のレッスン2 具体と抽象	考えをもつ。 言葉や表現の工夫などに注意しながら、筆者のものの見方や考え方を読み取る。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。
12	2 1 1 2 4 1 3	本の世界を広げよう。 季節のしおり 冬 話し合いの流れを整理しよう 文法2 用言の活用 立場を尊重して話し合おう 漢字に親しもう4 書写 書き初めをしよう	案内を読み、興味や読書の幅を広げる。 語感を磨き語彙を豊かにする。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の構成を理解する。 それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。 自学習の成果を生かし、書き初めの練習をする。
1	6 3 5 2	走れメロス 文法への扉3 一字違いで大違い 描写を工夫して書こう 言葉3 話し言葉と書き言葉	表現の巧みさを味わい、描写の効果、人物の言動などから内容を理解する。 付属語について理解する。 ある視点を定め、表現のしかたを工夫して文章を書く。 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。
2	2 2 3	漢字3 送り仮名 書写書き初めの鑑賞 国語の学びを振り返ろう	教材文を読み、送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。 書き初めを鑑賞し合い、よい点を学び合う。 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る。
3	3 2 3	国語の力試し 鍵 書写 生活に広げよう	問題を解く。解き終わったら、解答と採点基準を確認し、自己採点をする。 言葉の意味を考え、詩に込められた思いを捉える。 目的や用途によって用具や用材を選び、丁寧に書く。

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 語彙を身に付け、具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	・定期テスト、小テスト等
【思考・判断・表現】 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。	・作文、スピーチ等 定期テスト、小テスト等
【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	・取り組み等

令和7年度 年間指導計画 社会科（地理的分野） 第2学年

目標	・「世界と日本の地域構成」及び「世界の様々な地域」の学習成果を踏まえ、日本及び日本の諸地域の地域的特色を捉える学習を通して、日本の国土に関する地理的認識を深めさせる。
指導の重点	・日本の地域的特色及び日本の諸地域に関する諸資料の読み取りを通して、その特色を多角的・多面的に捉える力を育む。 ・自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信を関連づけて理解する力を育む。

	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	3	地域調査の仕方	調査テーマの決め方から発表の仕方まで
5	4	日本の地域的特色	日本の地形、気候 日本的人口、資源・エネルギー
6	4	日本の地域的特色	日本の農林水産業、工業 商業・サービス業、交通網・通信網 自然環境、人々の生活、農業、産業
9	4	九州地方	自然環境、人々の生活、農業、工業、観光産業。環境問題
10	4	中国・四国地方	自然環境、交通網、人々の生活、工業、農業、観光産業
11	4	近畿地方	自然環境、京阪神大都市圏、阪神工業地帯 古都京都・奈良と歴史的景観の保全、林業・漁業と環境保全
12	4	中部地方	自然環境、中京工業地帯、東海の産業 中央高地の産業、北陸の産業
1	4	関東地方	自然環境、首都・東京、東京大都市圏 第三次産業の発達、工業の変化、農業と過疎問題
2	4	東北地方	自然環境、寒い地域での稲作と畑作、果樹栽培と漁業 伝統文化と観光産業、工業と生活の変化
3	3	北海道地方	自然環境、稲作の歴史、大規模化した農業、漁業 北国の自然を生かした観光産業
	2	身近な地域の調査	まとめ学習

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 日本の地域的特色や日本の諸地域の資料をもとに、その特色を理解している。	・定期考査 ・単元テスト
【思考・判断・表現】 日本の地域的特色や日本の諸地域の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギー、交通・通信の項目について関連づけて、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し表現している。	・定期考査 ・パフォーマンス課題
【主体的に学習に取り組む態度】 日本の地域的特色と日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・単元テスト ・パフォーマンス課題

令和7年度 年間指導計画 社会科（歴史的分野） 第2学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12～19世紀までの日本の歴史の流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる。</li> <li>・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統や文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考・判断したことを説明したりする力を養う。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の歴史と関連する世界の歴史を背景に、政治の展開、産業の発達、社会の様子や文化の特色など、ほかの時代との共通点や相違点に着目して各時代の特色を理解し表現する力を育む。</li> </ul>

5	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	4	武家政権の内と外	元寇、南北朝の内乱 勘合貿易、琉球とアイヌの人々との交易
5	5	人々の結びつきが強まる社会	技術の発達、自立する民衆 下剋上、室町時代の文化
6	5	大航海によって結び付く世界	イスラーム世界の拡大、大航海時代、東アジアの貿易
7	4	戦国から全国統一へ	信長・秀吉による全国統一、秀吉の政策、桃山文化
9	4	武士による支配の完成	幕藩体制の始まり 朱印船貿易から貿易統制へ、貿易の四つの窓口 琉球王国とアイヌの人々への支配
11	5	天下太平の世の中	江戸時代の身分制度、諸産業の発達、交通網の発達 元禄文化
12	4	社会の変化と幕府の対策	享保の改革、田沼の政治、寛政の改革、化政文化
1	5	欧米諸国における近代化	市民革命、フランス革命、産業革命、欧米諸国の世界進出
2	4	開国と幕府の終わり	アヘン戦争、天保の改革、ペリー来航と開国 江戸幕府の滅亡
3	4	新しい価値観の下で	明治維新、富国強兵政策、文明開化

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> 各時代の特色を表す資料から歴史に関する様々な情報を効果的に読み取り、その時代の特色と歴史的事象に関する基礎・基本的事柄を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元テスト</li> </ul>
<b>【思考・判断・表現】</b> 各時代の共通点や相違点について多角的・多面的に考察し表現している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・パフォーマンス課題</li> </ul>
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 各時代の特色と歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト</li> <li>・パフォーマンス課題</li> </ul>

令和7年度 年間指導計画 数学科 第2学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いた式と連立2元1次方程式、平面図形と数学的な推論、1次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。</li> <li>文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を育成する。</li> <li>数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を育成する。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動を取り入れる。</li> <li>数学の事象から問題を見だし解決する活動を取り入れる。</li> <li>数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動を取り入れる。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4 5	15	1章 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>式の計算 単項式と多項式、多項式の計算、単項式の乗法、除法、式の値</li> <li>文字式の利用 文字式の利用、等式の変形</li> </ul>
6 7	15	2章 連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>連立方程式 2元1次方程式と連立方程式、連立方程式の解き方 いろいろな連立方程式の解き方</li> <li>連立方程式の利用 連立方程式の利用</li> </ul>
7 9	16	3章 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数 1次関数の値の変化、1次関数のグラフ、1次関数の式の求め方</li> <li>1次関数と方程式 2元1次方程式のグラフ、連立方程式のグラフ</li> <li>1次関数の利用 1次関数の利用</li> </ul>
10 11	18	4章 図形の性質と合同	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行線と角 直線と角、三角形の角、多角形の内角と外角</li> <li>三角形の合同 合同な図形、三角形の合同条件</li> <li>証明 証明のしくみ</li> </ul>
12 1	18	5章 三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形 二等辺三角形、正三角形、直角三角形、ことからの逆と反例</li> <li>四角形 平行四辺形、特別な平行四辺形、面積が等しい三角形</li> </ul>
2	7	6章 データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの散らばり 四分位数と四分位範囲、箱ひげ図</li> <li>データの傾向と調査 データの傾向と調査</li> </ul>
2	8	7章 確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>確率 確率、いろいろな確率</li> </ul>
3	8	1年間の総まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の総まとめ</li> </ul>

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・定期考査 ・単元テスト など
<b>【思考・判断・表現】</b> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・定期考査 ・単元テスト など
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	・問題集 ・ノート ・プリント ・振り返り など

令和7年度 年間指導計画 理科 第2学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験結果に基づき表やグラフを作成し、レポートを作成発表する。またモデルなどの活用により思考力や表現力を養う。</li> <li>・科学技術が身近な生活に活かされていることと結びつけ、より理解を深めるとともに科学的な考え方を生活に活かせるように指導する。このため、ものづくりや生活に基づいた課題提示を行う。</li> <li>・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。</li> <li>・観測しにくい現象などをコンピュータやプロジェクタなどを用いてシミュレーションやイメージ画像として提示するなど、ICT機器を活用して生徒の思考と理解を支援する。</li> <li>・計算や化学反応式などつまずきやすい課題を、家庭で反復練習させるように支援し、小テストなどによって定着を図る。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	6	2-1 化学変化と原子・分子 第1章 物質のなりたちと化学変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤモンドをつくる粒子</li> <li>・物質を加熱したときの変化</li> <li>・水溶液に電流を流したときの変化</li> </ul>
5	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質のもとになる粒子</li> <li>・原子が結びついてできる粒子</li> <li>・物質を表す記号</li> <li>・物質を表す式</li> <li>・化学変化を表す式</li> </ul>
6	16	第2章 化学変化と物質の質量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学変化の前後での物質の質量</li> <li>・反応する物質どうしの質量の割合</li> <li>・物質どうしが結びつく変化</li> <li>・物質が酸素と結びつく変化</li> </ul>
		第3章 化学変化の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質から酸素をとり除く変化</li> <li>・化学変化と熱の出入り</li> </ul>
7	8	2-2 動植物の生きるしくみ 第1章 生物のからだと細胞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の体のつくりとはたらき</li> <li>・生物の体の成り立ち</li> <li>・細胞のつくり</li> <li>・細胞のはたらき</li> </ul>
9	14	第2章 植物のからだのつくりとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養分をつくる</li> <li>・植物の呼吸</li> <li>・水や栄養分を運ぶ</li> <li>・栄養分を取り入れる</li> </ul>
10	18	第3章 動物のからだのつくりとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の呼吸</li> <li>・不要な物質のゆくえ</li> <li>・物質を運ぶ</li> <li>・感じ取るしくみ</li> <li>・刺激を伝えたり反応したりするしくみ</li> <li>・運動のしくみ</li> </ul>
11	16	2-4 天気とその変化 第1章 大気の性質と雲のでき方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の大気と天気の変化</li> <li>・大気の中ではたらく力</li> <li>・大気の様子を観測する</li> <li>・霧のでき方</li> <li>・雲のでき方</li> <li>・空気にふくまれる水蒸気量</li> </ul>
12	14	第2章 天気の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風が吹くしくみ</li> <li>・大気の動きによる天気の変化</li> <li>・地球規模での大気の動き</li> <li>・陸と海の間の大気の動き</li> </ul>
1	9	第3章 日本の天気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の四季の天気</li> <li>・天気の変化がもたらす恵みと災害</li> </ul>

1	8	2-3 電流とのはたらき 第1章 電流・電圧・抵抗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電流とその利用</li> <li>・電流が流れる道すじ</li> <li>・回路に流れる電流</li> <li>・回路に加わる電圧</li> <li>・電圧と電流の関係</li> <li>・電流、電圧、電気抵抗の求め方</li> <li>・電流のはたらきを表す量</li> </ul>
2	15	第2章 発電	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磁界</li> <li>・モーターのしくみ</li> <li>・発電機のしくみ</li> </ul>
3	10	第3章 電流の正体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静電気</li> <li>・静電気と電流の関係</li> <li>・電流の正体</li> <li>・放射線の発見とその利用</li> </ul>

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> 自然事象の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度・レポート</li> <li>・ワークシート・小テスト</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
<b>【思考・判断・表現】</b> 自然事象の規則性などを見出し表現しているなど、科学的に探究している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート・ワークシート</li> <li>・小テスト・定期テスト</li> </ul>
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 自然事物現象に進んで関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度・自己評価</li> <li>・レポート・ワークシート</li> </ul>

令和7年度 年間指導計画 英語科 第2学年

目標	外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝えあったりする資質・能力の育成を目指す。
指導の重点	第1学年の学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きをさらに広げた言語活動を行い、事実関係を伝えたり、物事について判断したりする中でコミュニケーション能力の育成を図る。

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	10	LESSON 1 Meet New Friends	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の全体的な概要を把握する。</li> <li>未来を表す表現の用法を理解し使う。</li> <li>1年生のときに体験したことを伝え合う。</li> </ul>
5	15	Take Action! Listen1 Take Action! Read1 LESSON 2 Fun with Books	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港のアナウンスを聞いて必要な情報を聞き取る。</li> <li>イベントの案内を読んで必要な情報を読み取る。</li> <li>接続詞thatやCan I~?の用法を理解し使う。</li> </ul>
6	15	Take Action! Listen2 Take Action! Talk1 LESSON 3 My Dream	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサートに関する案内を聞いて必要な情報を聞き取る。</li> <li>May I~?の用法を理解し使う。</li> <li>買い物での表現を理解し、ペアでやりとりをする。</li> <li>不定詞の用法やmust, must notの用法を理解し使う。</li> </ul>
7	12	Take Action! Listen3 Project1 My Dream Reading Lesson1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボイスメッセージを聞いて必要な情報を聞き取る。</li> <li>将来の夢などについて原稿を書きスピーチをする。</li> <li>「ピーターラビット」の物語を楽しく読む。</li> </ul>
8 9	12	LESSON4 Safe Clean Water Take Action! Listen4 Take Action! Talk2	<ul style="list-style-type: none"> <li>There is[are]やmust、動名詞の用法を理解し使う。</li> <li>have to ,don't have toの用法を理解し使う。</li> <li>ラジオニュースを聞いて概要を聞き取る。</li> <li>山に行ったら何がしたいか話し合いをする。</li> </ul>
10	16	LESSON 5 Visiting Australia Take Action! Talk3 Take Action! Read2	<ul style="list-style-type: none"> <li>willの用法や動詞(give callなど)+A+Bの用法を理解し使う。</li> <li>電車の乗り換え案内について表現を理解し使う。</li> <li>オンラインショッピングに関するウェブサイトを読んで必要な情報を読み取る</li> </ul>
11	16	LESSON 6 Friends from Singapore Project2	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較級、最上級の用法を理解し使う。</li> <li>日本で人気のあるものについて調査をし、その内容について発表をする</li> </ul>
12	11	Reading Lesson2 Lesson7 Gifts from China	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数のオンライン記事を読んで概要を捉える。</li> <li>現在完了形(継続)の用法を理解し使う。</li> </ul>
1	10	Take Action! Listen5 Take Action! Talk4	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビで放送されているインタビューから話の全体的な内容を聞き取る。</li> <li>あるテーマをもとに自分の意見を伝えたり他者の意見に賛成や反対などの意見を対話する。</li> </ul>
2	13	Lesson8 Rakugo Goes Overseas	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了形(完了・経験)の用法を理解し使う。</li> </ul>
3	10	Project3 Reading Lesson3 A Pot of Poison	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外からの観光客のために日本の観光マップを作成する。</li> <li>物語を抑揚をつけて音読する。</li> </ul>

評価の観点および規準	主な評価資料
<p>【知識・技能】</p> <p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>定期考査、単元テスト、インタビューテスト、発表、会話、英作文など</p>
<p>【思考・判断・表現】</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p>	<p>定期考査、発表、会話、英作文など</p>
<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>言語活動への取組、宿題や提出物への取組</p>

令和7年度 年間指導計画 音楽科 第2学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。</li> <li>・音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</li> <li>・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱では、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活動を重視する。歌詞の内容や作詞者作曲者、使われている楽語や記号、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりなどを理解し、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することを目指す。</li> <li>・器楽、創作では、楽器の音色や響きと奏法との関わりや、音の重なり方、反復、変化、対照などの構造上の特徴を理解し、創意工夫した表現を目指す。</li> <li>・鑑賞では、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性などについて考え、様々な視点で楽曲を捉えられることを目指す。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	3	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう ・『夏の思い出』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の構成の変化により、曲想の変化が生まれることを感じ取った歌唱表現</li> <li>・歌詞と旋律との関わりを感じ取りながら、曲のもつ情緒を味わい表現を工夫する</li> </ul>
5 6	6	オペラに親しみ、その音楽を味わおう ・合唱鑑賞教室に向けて ・オペラ「カルメン」 アルトリコーダーに親しもう ・「虹の彼方に」 ・「オーラリー」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独唱と合唱の響きの違い</li> <li>・オペラ音楽の特徴や魅力について、他の芸術との関わりを理解しながらよさや美しさを味わう</li> <li>・アルトリコーダーの基本的な奏法</li> <li>・豊かな音色や響きを生かした独奏や合奏の表現の工夫</li> </ul>
7 9 10	10	思いをこめて合唱しよう (合唱コンクールに向けて) 学年課題曲 ・『夢の世界を』 ・各クラス自由曲 ・指揮法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作詞者や作曲者、楽語や記号、曲の構成の理解</li> <li>・歌詞の意味や曲の背景にある情景や作者の心情、自己のイメージや感情をふくらませた歌唱表現</li> <li>・指揮の基本的な表現方法</li> </ul>
11 12	5	曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう ・交響曲第5番ハ短調 オペラに親しみ、その音楽を味わおう ・オペラ「アイーダ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動機の使い方やソナタ形式の仕組みの理解</li> <li>・オーケストラの豊かな響きの感受</li> <li>・登場人物と旋律との関わり方の理解</li> <li>・オペラ音楽の特徴や魅力について、他の芸術との関わりを理解しながらよさや美しさを味わう</li> </ul>
1	4	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう ・『早春賦』 歌詞と旋律が生み出す雰囲気味わいながら歌おう ・『荒城の月』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の形式や構成の理解</li> <li>・旋律全体のまとまりを意識した歌唱表現</li> </ul>
2 3	7	言葉の抑揚を生かして旋律を創ろう ギターの響き ・「カントリーロード」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音符や休符の理解</li> <li>・基本的な記譜法</li> <li>・創意工夫を生かした音楽創り</li> <li>・ギターの基本的な奏法</li> <li>・ギターの音色や響きを生かした独奏や合奏の表現の工夫</li> </ul>

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作詞者や作曲者、楽語や記号、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現をするために必要な歌唱の技能や、楽器で表現したり曲を創作したりする基礎的な技能が身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験</li> <li>・定期考査</li> </ul>
<b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術などと関わらせながら、どのように表現するか思いや意図をもったり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・批評文</li> <li>・提出物</li> <li>・定期考査</li> </ul>
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動の楽しさを体験することを通して、主体的・協働的に粘り強く学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の取組</li> <li>・振り返り</li> <li>・提出物</li> </ul>

令和7年度 年間指導計画 美術科 第2学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</li> <li>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的、総合的に考え、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</li> <li>主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年において身に付けた表現に関する資質、能力を柔軟に活用して、より豊かに高めることに重点を置く。</li> <li>発想や構想の学習では、感じ取ったことや考えたこと、目的や条件などを基に、言葉で考えを整理する言語活動の充実を図る。</li> <li>鑑賞活動では、対話的な学びを通して、お互いのよさや個性などを認め尊重し合うような学習活動の充実を図る。</li> <li>生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実を図る。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	1	=オリエンテーション=	・美術の授業内容・評価評定・なぜ美術を学ぶのかに関して。
4	4	=表現[デザイン]/鑑賞= <ピクトグラム>	・生活や社会の中の美術の働きについて関心を持つ。 ・伝える、使うなどの目的や機能をもとに主題を生み出し機能と美しさの調和のとれた表現の構想を練る。
5 6	6	=表現[絵画]/鑑賞= <うちわの絵付け>	・構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な美しさなどを理解する。 ・材料や用具などの特性などから、制作の順序を考え、見通しをもって表す。 ・人物や情景、構図や色彩などから、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。
7	2	=表現[デザイン]= <少年非行防止啓発ポスター> (夏休みの課題)	・伝える目的や条件などをもとに、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさの調和のとれた表現の構想を練る。
9 10 11	10	=表現[工芸]/鑑賞= <陶芸>	・使う目的や条件をもとに、使いやすさと美しさとの調和を考え、表現の構想を練る。 ・材料や用具などの特性などから、制作の順序を考え、見通しをもって表す。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。
12	2	=鑑賞= <日本美術史[古代・中世]>	・日本の美術作品の伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。
1	3	=鑑賞= <日本美術史[近世・現代]>	・日本の美術作品の伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。
2 3	7	=表現[絵画]/鑑賞= <漫画>	・伝える目的や条件などをもとに、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさの調和のとれた表現の構想を練る。 ・表現の意図に応じて自分の表現方法を追求する。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現の活動において、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、想像的に表そうとしている。また、制作の順序を総合的に考えながら、見通しをもって表そうとしている。</li> <li>表現及び鑑賞の活動において、形や色彩、材料、光などの特性や、それらが感情にもたらす効果を理解している。また、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品</li> <li>授業プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>

<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の活動において、感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現の構想を練っている。また、伝える、使うなどの目的や機能と美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。</li> <li>・鑑賞の活動において、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。また、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・授業プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>
<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取組</li> <li>・授業プリント</li> </ul>

令和7年度 年間指導計画 保健体育科 第2学年

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体化として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを旨とする。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。</li> <li>・ 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</li> <li>・ 生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	7	体づくり運動	・ 体ほぐし運動、体力を高める運動、新体力テスト、運動会練習
	3	体育理論	・ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方
5 6	10	陸上競技	・ 短距離走、リレー(運動会練習含む)
	14	球技	・ ベースボール型(ソフトボール)
	4	保健分野	・ 傷害の防止
6 7 9 10	11	水泳	・ クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、時間泳
	4	保健分野	・ 傷害の防止
10	14	球技	・ ネット型(バレーボール)
11	4	保健分野	・ 健康な生活と疾病の予防
12	8	ダンス	・ 現代的なリズムのダンス
1 2 3	6	柔道	・ 柔道(投げ技)
	8	陸上競技	・ 長距離走
	8	球技	・ ゴール型(アルティメット)
	4	保健分野	・ 健康と環境      ・ 傷害の防止

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解するとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付ける。	・ 技能検査、授業観察、補助簿、筆記テスト
<b>【思考・判断・表現】</b> 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせを工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える。	・ 補助簿、提出物、授業観察、筆記テスト
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組む。	・ 授業観察、筆記テスト、補助簿、提出物

令和7年度 年間指導計画 技術科 第2学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気、運動、熱の特性等の原理や法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解する。</li> <li>情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理や法則と、情報のデジタル化や処理の自動化について理解する。</li> <li>育成する生物の成長、生態の特性等の原理や法則と、育成環境の調整方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的、基本的な知識や技能の定着を図る。</li> <li>技術に込められた問題解決の工夫について考える。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	3	生活や社会とエネルギー変換の技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会を支えるエネルギー変換の技術</li> <li>身の回りにおけるエネルギー変換の技術</li> </ul>
5	4	エネルギー資源の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーの利用</li> <li>燃料を利用した技術</li> <li>発電と送電のしくみ</li> <li>エネルギー変換効率と省エネルギー</li> </ul>
6	4	電気の利用 運動の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気エネルギーの特徴</li> <li>光や熱、動力や音・信号に変換するしくみ</li> <li>電気機器と回路図、電気機器の安全な利用</li> <li>電気機器の保守点検</li> <li>力の伝達、動きの変化、機器の保守点検</li> </ul>
7	3	エネルギー変換の技術による問題解決 これからのエネルギー変換の技術 「エネルギー変換の技術」の学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の流れ</li> <li>エネルギー変換の技術と私たちの未来</li> <li>学習のまとめ</li> </ul>
9 10 11 12	4 3 4 3	情報とコンピュータ 情報の表現と伝達 情報セキュリティと情報モラル	プログラムの構造と表現
1 2 3	2 3 2	生活や社会を支える生物育成の技術 身の回りにおける生物育成の技術 作物の栽培技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会と生物育成の技術</li> <li>さまざまな生物育成の技術</li> </ul>

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会を支えているエネルギー変換の技術について理解している。</li> <li>発電の仕組みと特徴について理解している。</li> <li>電源の種類と特徴や、送電や配電の仕組みについて理解している。</li> <li>電気機器の安全な使い方について理解している。</li> <li>運動の種類とエネルギー変換、さまざまな運動を伝える仕組みを理解している。</li> <li>生活や社会を支えている生物育成の技術について理解している。</li> <li>生物の成長の状態に合わせて、安全で適切な管理作業ができる技能を身につけている。</li> <li>生活や社会を支えている情報の技術について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品</li> <li>提出物</li> <li>定期テスト</li> </ul>
<b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな発電方法の技術の工夫について考えている。</li> <li>電気による事故を防ぐ方法について考えている。</li> <li>作物を育てる技術について、育てる作物の習性を考慮して考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品</li> <li>提出物</li> </ul>
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。</li> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取組</li> <li>作品</li> <li>提出物</li> </ul>

令和7年度 年間指導計画 家庭科 第2学年

目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を取得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して課題をもって生活をよりよくしようとする態度を育てる。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要な基礎的・基本的な知識や技術を習得させる。</li> <li>学んだことを定着させ、日常生活に生かすことができるようにさせる。</li> <li>生活と技術とのかかわりについて理解できるようにさせる。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容	
4	3	B 衣食住の生活	○目的に応じた衣服の選択 ・衣服で伝わるメッセージ ・自分らしくコーディネート ・和服の文化と衣服の選択	
5	4		○日常着の手入れと保管 ・衣服の素材と手入れ ・衣服の洗濯 ・衣服の収納・保管 ・衣服の補修	
6	3			
7	3		○布を用いたものの製作 ・製作の基礎・基本 ・布による作品製作	
9	4			
10	3			○持続可能な衣生活 ・消費行動が社会に与える影響 ・持続可能な衣生活をめざして
11	3			
12	3			
1	3	C 消費生活・環境	○家庭生活と消費	
2	3		○購入・支払いと生活情報 ・環境への影響を考える ・環境への影響を考えた消費生活 ・持続可能な社会へ向けて	
3	3			

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> ・基本的事項を理解している ・基本的な技術を身に付けている	・定期テスト ・実技テスト
<b>【思考・判断・表現】</b> ・自分の考えを表現している ・作品や作業に工夫がある	・定期テスト ・提出課題
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・課題に意欲的に取り組んでいる	・授業や課題への取組